



週間情報



No.0729

発行日 令和7年8月5日

発行所 全国消防長会

一般財団法人全国消防協会

担当 企画部企画課 03-4500-6622

両会の動き

◆ 事務局職員の人事異動について

全国消防長会

このことについて、下記のとおりお知らせします。

記

1 令和7年7月31日付異動

帰任（解嘱）

爪田 千帆里

企画部情報管理課情報企画担当係長

浜松市消防局へ

2 令和7年8月1日付異動

着任（委嘱）

永井 匠

企画部情報管理課情報企画担当係長

浜松市消防局から

消防本部の動き

訓練

◆ 警察機関と合同で水難救助訓練を実施

小山市消防本部（栃木）

小山市消防本部では、令和7年7月8日（火）、栃木県警察本部小山警察署と合同で、水難救助訓練を実施しました。

この訓練は、水難事故に備えるため、警察機関との連携強化を図るとともに、的確な救助活動を実施することを目的として実施したものです。

当日は、想定訓練と相互が所有する水難救助資機材の確認訓練を行い、単独訓練では得られない視点や判断について共有することができ、大変有意義な訓練となりました。

中田消防長は、訓示において「互いの専門性を生かして活動できるよう、定期的に合同訓練を行います。」と述べました。

今後も、警察機関との連携強化を図るとともに、地域住民の安全・安心の確保に努めてまいります。



【想定訓練の様子】



【水難救助資機材確認訓練の様子】

◆ 解体建物を活用した消防活動訓練を実施

東京消防庁（東京）

東京消防庁本郷消防署では、令和7年7月8日（火）から10（木）までの3日間、管内の共同住宅の解体予定建物を活用した消防活動訓練を実施しました。

当日は、ポンプ隊による防火扉、ガラスの破壊訓練と居室を活用した検索救助訓練を実施し、実際の現場活動に生かせる知識・経験を得ることができ、とても有意義な訓練となりました。

なお、この訓練は、予防課予防係と連携して解体予定の建物情報を早期に把握したことで、余裕を持って解体業者と調整できたため、実現したものです。

今後も各課が横断的に連携して、各種施策の実現に努めてまいります。



【訓練の様子】

◆ 小型車両系建設機械を活用した救助訓練を実施

飯田広域消防本部（長野）

飯田広域消防本部では、令和7年7月10日（木）、飯田市内の労働技能教習センターにおいて、小型車両系建設機械を活用した救助訓練を実施しました。

この訓練は、集中豪雨や大規模地震などで懸念される土砂風水害に備えるため、有効性が注目される小型車両系建設機械の特性、活用方法、活動上の安全管理について理解を深めることを目的として実施したものです。

当日は、設営していただいた訓練会場において、一般社団法人中部労働技能教習センターの指導員を講師にお迎えし、緊張感のある訓練を行い、新たな発見や救助技術の向上を図ることができました。

また、最後には、講師によるデモンストレーションも披露され、小型車両系建設機械の大きな可能性を感じることができました。

今後も訓練を重ね、関係機関との連携を密にし、災害時の円滑な連携活動につなげてまいります。



【訓練の様子】

◆ 北海道消防学校救助科に入校した職員によるフィードバック研修を実施

西胆振行政事務組合消防本部（北海道）

西胆振行政事務組合消防本部では、令和7年7月14日（月）、消防士と消防士長を対象として、北海道消防学校救助科に入校した職員によるフィードバック研修を実施しました。

当日は、「消防・救助活動時における安全管理」をテーマとした座学を実施し、「安全管理とは何か」、「なぜ必要なのか。」を再認識するとともに、事故発生要因について理解することができました。

併せて、三連梯子を活用した訓練を行い、危険個所の認識と安全管理に対する目を養うことができました。

今後も安全管理を徹底した訓練を継続し、消防力の向上に努めてまいります。



【フィードバック研修の様子】

◆ 陸上自衛隊と合同訓練を実施

座間市消防本部（神奈川）

座間市消防本部では、令和7年7月15日（火）、神奈川県消防学校災害救助訓練場において、陸上自衛隊第4施設群と合同訓練を実施しました。

この訓練は、近年、自然災害が頻発していることから、同自衛隊との連携強化を図るとともに、大規模地震災害時において、迅速かつ円滑な初動対応を行うことを目的として実施したもので、自衛隊が同訓練場で訓練を行うのは初の試みでした。

当日は、互いの専門知識・技術と保有する各種資機材の共有を図った後、実際の災害を想定した実働訓練を実施し、両機関の役割を踏まえた連携体制を確立することができました。



【訓練の様子】

◆ 県を越えた消防本部と水難救助合同訓練を実施

十和田地域広域事務組合消防本部（青森）

十和田地域広域事務組合消防本部では、令和7年7月18日（金）、十和田湖において、秋田県鹿角広域行政組合消防本部と水難救助合同訓練を実施しました。

この訓練は、鹿角広域行政組合消防本部との境界付近で発生した水難事故に備えるため、情報収集、情報共有、両消防本部の水難事故対応要領を把握するとともに、連携強化を図ることを目的として、初めて実施したものです。

当日は、訓練をはじめ、鹿角広域行政組合消防本部との顔が見える関係を構築することができ、貴重な訓練となりました。

今後も、県の垣根を越えて十和田湖地区の安全・安心なまちづくりに向けて尽力してまいります。



【訓練の様子】

◆ 海上保安庁田辺海上保安部と合同で水難救助訓練を実施

御坊市消防本部（和歌山）

御坊市消防本部では、令和7年7月23日（水）、御坊市名田町の上野漁港において、海上保安庁田辺海上保安部と合同で、水難救助訓練を実施しました。

この訓練は、管轄内に海水浴場はないものの、防波堤からの釣りが盛んな漁港やサーフィンが有名な海岸が点在しており、時期に関係なく水難救助出動要請があることから、水難事故への対応力の向上と関係機関との連携強化を図ることを目的として実施したものです。

当日は、「釣り客が落水した。」との想定で、当消防本部の潜水隊による検索や要救助者を同海上保安部の小型ボートへの引き揚げなどを行い、機動力や初動対応について相互に理解を深めることができました。

今後も、関係機関と連携した訓練を実施し、災害対応能力のさらなる向上に努めてまいります。



【訓練の様子】

研 修

◆ 熱画像直視装置活用研修会を実施

新居浜市消防本部（愛媛）

新居浜市消防本部では、令和7年7月17日（木）、熱画像直視装置活用研修会を実施しました。

この研修会は、各所属で保有する熱画像直視装置の基本的な活用方法を再確認するとともに、災害現場で有効活用することを目的として実施したものです。

当日は、フリーシステムズジャパン株式会社から講師をお招きし、熱画像直視装置の活用方法について、ご講義いただきました。

また、同月15日（火）、16日（水）には、隣接する西条市消防本部と四国中央市消防本部もそれぞれ同様の研修を実施しており、統一した内容の研修会を行うことで、広域災害時における職員間の連携強化につながることを期待しています。

今後も、さまざまな研修会を通じて、職員の知識・技術の向上を図るとともに、近隣消防本部との協力体制を構築してまいります。



【研修会の様子】

◆ 人材育成研修会を実施

石巻地区広域行政事務組合消防本部（宮城）

石巻地区広域行政事務組合消防本部では、令和7年7月18日（金）、消防士長、消防副士長、消防士の職員を対象とした、人材育成研修会を開催しました。

この研修会は、ハラスメントに対する正しい知識を理解するとともに、効果的な教育心理・教育技法を学ぶことを目的として、宮城県消防学校校友会事業助成を受けて開催したものです。

当日は、仙台白百合女子大学教授で消防大学校客員教授でもある山崎洋史先生を講師としてお招きし、「次世代のリーダーに必要なこと」と題して、ハラスメント防止と教育技法を織り交ぜながらご講義いただいた後、受講者からの活発な質疑に対して、山崎先生から丁寧なアドバイスをいただき、大変有意義な研修会となりました。

今後も、ハラスメントを許さない職場環境づくりに努めてまいります。



【研修会の様子】

その他

◆ 消防協力者に感謝状を贈呈

羽島市消防本部（岐阜）

羽島市消防本部では、令和7年7月16日（水）、消防協力者の3人に対して、消防長から感謝状を贈呈しました。

本事案は、同年6月17日（火）、管内の水路に自転車ごと転落した50代の男性に対して、通りかかった消防協力者の3人が協力し、水路から引き揚げて救助した後、119番通報を行い、救急隊に引き継いだものです。

消防長は、「勇気ある行動によって、尊い命が救われました。」と感謝の意を伝えました。



【贈呈式後の記念撮影】

◆ 救急功労団体に感謝状を贈呈

千曲坂城消防本部（長野）

千曲坂城消防本部では、令和7年7月22日（火）、救急功労団体である長野県坂城高等学校に対して、消防長から感謝状を贈呈しました。

本事案は、同年4月28日（月）に管内にある同高等学校の敷地内で発生した救急事案において、部活動中に心肺停止となった学生に対し、その場に居合わせた教員や生徒が連携し、迅速な119番通報、絶え間ない胸骨圧迫、AEDによる除細動を行ったものです。

学生は、救急隊到着時には心拍が再開し、自発呼吸が回復しました。

当日は、多くの学校関係者の勇気ある一連の行動により、学生が社会復帰したことは他の模範となる多大な功績であるため、消防長から感謝の意を伝えました。



【贈呈式の様子】



【贈呈式後の記念撮影】

◆ 学生が取り組む「PBL型学習」において当消防局が抱える課題を提供

川越地区消防局（埼玉）

川越地区消防局では、令和7年7月15日（火）、地域連携の一環として、尚美学園大学の学生が取り組む「PBL型学習」において、当消防局が抱える課題を提供しました。

当日は、当消防局の課題である「当消防局志願者の確保」、「職員の高齢化」、「活動時の熱中症対策」、「救命講習の普及」について、学生による対応策の提案を受けました。

今後も、若い世代の新しい発想を柔軟に取り入れながら、引き続き諸課題の解決に向けて取り組んでまいります。



【PBL型学習の様子】

国等の動き

消防庁通知等

◆ 令和6年中の圧縮アセチレンガス等の消防活動阻害物質に係る事故の発生状況について

（消防危第175号、令和7年7月25日）

消防庁危険物保安室長から各都道府県消防防災主管部長、東京消防庁・各指定都市消防長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

今般、「圧縮アセチレンガス等の消防活動阻害物質に係る事故状況の調査について」（令和7年3月3日付け消防危第37号）により依頼した消防法（昭和23年法律第186号）第9条の3の規定する圧縮アセチレンガス等の消防活動阻害物質に係る事故の発生状況について、別添のとおり取りまとめましたので通知します。（別添省略）

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

（<https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/b8ed8adc9eb94e6a1bee0f3af8c570920191e65a.pdf>）に掲載されています。

連絡先	消防庁危険物保安室 羽田野、馬場、笹壁
電話	03-5253-7524(直通)

報道発表

◆ 令和7年6月の熱中症による救急搬送状況

(令和7年7月23日、消防庁)

熱中症による救急搬送人員について、令和7年6月の確定値を取りまとめましたので、その概要を公表します。

—以下省略—

- 全文は、消防庁ホームページ

(<https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/2e0063d42253c6131f55855195b8afb2171b8105.pdf>) に掲載されています。

【連絡先】 消防庁 救急企画室 救急連携係

担 当：竹田課長補佐、松田係長、三宅事務官

T E L：03-5253-7529

E-mail：kyukyukikaku-kyukyurenkei_atmark_soumu.go.jp

※スパムメール対策のため、「@」を「_atmark_」と表示しております。
送信の際には、「@」に変更してください。

◆ 対象火気設備等の位置、構造及び管理並びに対象火気器具等の取扱いに関する条例の制定に関する基準を定める省令の一部を改正する省令（案）等に対する意見公募

(令和7年7月23日、消防庁)

消防庁は、対象火気設備等の位置、構造及び管理並びに対象火気器具等の取扱いに関する条例の制定に関する基準を定める省令の一部を改正する省令（案）等について、令和7年7月23日（水）から令和7年8月26日（火）までの間、意見を公募します。

—以下省略—

- 全文は、消防庁ホームページ

(https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/250723_yobou_1.pdf) に掲載されています。

(事務連絡先)

消防庁予防課 高木補佐、松下

TEL 03-5253-7523（直通）

E-mail：yobo_atmark_soumu.go.jp

※スパムメール対策のため、「@」を「_atmark_」と表示しております。送信の際には「@」に変更してください。

情報提供

◆ 日本CBRNE学会／NBCR対策推進機構共同主催シンポジウムの開催

主催：特定非営利活動法人NBCR対策推進機構、一般社団法人日本CBRNE学会

後援：全国消防長会

目的：「CBRNEシェルターと大災害避難所」をテーマとして、消防職員、自衛隊員、自治体職員、防災専門家、医療従事者の専門家が一同に会する場所において情報を共有するとともに、関連企業や一般市民に対して、シェルターの必要性について普及啓発を行ってまいります。

1 実施日時

令和7年9月15日（月祝）10：00～17：00

2 会場（対面およびWeb（オンデマンド）配信）

国立オリンピック記念青少年総合センター（小田急線「参宮橋駅」より徒歩7分）

3 対象者

消防職員、防災専門家、医療従事者、自衛隊員、警察、大学関係者などの専門家に加えて、広く興味ある企業、一般市民を対象とする。

4 申し込み方法

シンポジウムに参加を希望される方はホームページから登録またはお問い合わせ先にご連絡ください。（参加費については、申込者にお知らせする銀行口座に振り込んでいただきます。）

5 参加費（事前登録をされた消防庁関係者は会員料金といたします。）

会員5,000円、非会員6,000円（会場参加、当日の昼弁当、お茶、お菓子代を含む。）

会員5,000円、非会員6,000円（オンデマンド参加）

6 プログラム（発表構成）

(1) 開会挨拶（10：00～10：05）

石井正三（日本CBRNE学会理事長）

(2) 講演1（10：05～10：45）

講師 濱口和久（拓殖大学防災教育研究センター長・特任教授）

「日本のシェルターの現状と今後の展望」

(3) 講演2（10：50～11：30）

講師 畑仲卓司（東日本国際大学客員教授、日本医師会医療安全）

推進者養成講座講師 「武力攻撃事態・緊急対処事態等における国民保護と避難対処方策」

(4) 昼食および交流・懇談会、企業プレゼン（11：30～13：30）

(5) 講演3（13：30～14：10）

講師 別府万寿博（防衛大学校環境科学科教授）

「特殊災害シェルター —シェルターの有効性と限界—」

(6) 講演4（14：15～14：55）

講師 小林茂（インフラ経営研究所理事長）

「公助に加えて自助、自己完結型防災対策のすすめ」

(7) 総合パネルディスカッション（15：00～15：40）

(8) 関連企業紹介（15：45～16：45）

(9) 閉会挨拶（16：50～16：55）

【お問い合わせ先】

事務局：NBCR対策推進機構 東京都港区赤坂4-9-25 新東洋赤坂ビル3階

担当：岡部・遠藤・石原

HP：<https://nbc-r-taisaku.com>

TEL：03-5829-6187 FAX：03-5829-6197 E-mail：info@nbc-r-taisaku.com

◆ 令和7年秋の火災予防運動用ポスター等のあっせん等について

一般財団法人全国消防協会

一般財団法人全国消防協会では、防火意識の普及啓発の推進を目的に、毎年春と秋の火災予防運動の時期に合わせて、全国の消防本部に火災予防運動用ポスター等のあっせんを行っております。

令和7年秋の火災予防運動用として、下記のとおりポスター等をあっせんいたしますので、貴消防本部の火災予防運動に是非ご活用ください。

記

- 1 令和7年度全国統一防火標語

『急ぐ日も 足止め火を止め 準備よし』

- 2 あっせんするポスター等

以下の7種で、いずれもモデルは藤本 唯千夏（ふじもと いちか）さんです。

種 別	ポスター			立看板用 ポスター	防火チラシ
	B 2	B 3 (縦型)	B 3 (横型)		
記 号	N-1	N-2	S-3	N-3	N-4
	S-1	S-2			

- 3 申込方法

所定の申込書により、FAXまたは郵送にて直接業者にお申し込みください。

- 4 申込先

熊谷印刷株式会社

〒135-0052 東京都江東区潮見2-3-4

TEL 03-6659-8102 FAX 03-6659-8107

- 5 申込締切日

令和7年8月29日（金）（業者必着）

- 6 その他

詳細は、各本部あてに送付したご案内文書（令和7年8月1日付全消協第52号）およびポスターなどの見本をご確認ください。

【問合せ先】

業務課

担当：岩澤、石井（健）、鳥谷部

電話：03-4500-6622

機関誌「ほのお」記事募集

一般財団法人全国消防協会では、機関誌「ほのお」に関して、各消防本部より次の投稿記事を募集しています。

①トップ・セカンド記事

②知識・技術の伝承—教えて！消防技術—

③女性職員の活躍推進

※①・②・③の執筆要領等の詳細は、週間情報（No.0716）1ページ、機関誌「ほのお」2025年4号（4/25発刊）29ページを参照願います。

TEL：03-4500-6622 機関誌「ほのお」担当：企画課 中西

原稿データは、kikakoho@fcaj.gr.jpに送信願います。

④消防ワイド

【特徴】

- ・写真中心のビジュアルな広報
- ・紙媒体により記録性に優れる広報

【留意事項】

- ・文章は、Wordで100文字程度で作成をお願いします。
- ・写真は、Wordに貼り付けず、JPEG画像データを1枚送付してください。
- ・消防ワイド、週間情報の両方に投稿された場合、どちらか一方のみの掲載となります。

TEL：03-4500-6622 機関誌「ほのお」（消防ワイド）担当：企画課 中西

原稿データは、honoo@ffaj-shobo.or.jpに送信願います。

ご投稿をお待ちしております。

※添付ファイルの容量が5MBを超える場合は、分割して送信願います。

週間情報への投稿は企画課へ！

週間情報では、各消防本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せください。

【特徴】

- ・原則毎週刊行される、速報性のある広報
- ・文章中心の情報量が多い広報

【留意事項】

- ・配信日（原則火曜日）から前2週間以内のイベント、訓練等を中心に掲載しています。
- ・文章は、Wordで200～400文字程度で作成をお願いします。
- ・写真は、1～2枚をWordに貼り付けて送付してください。
（貼り付けできない場合は、JPEG画像データを送付してください。）
- ・週間情報、消防ワイドの両方に投稿された場合、どちらか一方のみの掲載となります。
- ・掲載が決定した場合のみ、担当者からメールを返信させていただきます。

TEL：03-4500-6622 「週間情報」担当：企画課 木原

原稿データは、weekly@fcaj.gr.jpに送信願います。